

EX-TREND 武蔵 2015 オプション追加編 目次

オプションプログラムの追加時には、プロテクトの更新または書き換えの後に、最新プログラムにアップデートします。

プロテクトの更新または書き換え をおこないます 1

1. ネット認証ライセンス(占有)の更新 2
2. ネット認証ライセンス(共有)の更新 3
3. ネット認証ライセンス(LAN)の更新 4
4. USBプロテクト【SNS-W】の書き換え 6
5. USBプロテクト【SNS-LAN-X】の書き換え 7
6. USBプロテクト【JSP-R】の書き換え 8
7. USBプロテクト【JSP-LAN-R】の書き換え 9
8. プロテクト Q&A 11

EX-TREND武蔵 2015 を アップデートします 19

1. プログラムの再インストール 20
2. 入力専用ライセンスの更新 22

セットアップの前に確認してください



Check

セットアップ時の権限について

プロテクトおよび各プログラムをセットアップする場合は、Administrators グループに所属しているユーザーや、「コンピュータの管理者」のユーザーでログオンする必要があります。



Check

セキュリティソフトによる警告について

お使いのセキュリティソフトによっては、セットアップ時に警告メッセージが表示される場合があります。警告が表示された場合には、セキュリティソフトなどの常駐プログラムを終了してから、セットアップをおこなってください。



Check

データのバックアップをおこなってください

セットアップやアンインストールをおこなう場合は、必要なデータは必ずバックアップしてください。バックアップの手順については、各ヘルプ、またはマニュアルをご覧ください。

お客様が作られたデータはお客様にとって大切な財産です。万が一の不慮の事故による被害を最小限にとどめるために、お客様御自身の管理・責任において、データは必ず定期的に2か所以上の別の媒体(HDD、CD、DVD など)に保存してください。

また、いかなる事由におきましても、データの破損により生じたお客様の損害は、弊社では補償いたしかねますのでご了承ください。

プロテクトの更新または書き換えをおこないます

オプションプログラムを追加された場合やバージョンアップ時には、まず、プロテクトの更新または書き換えをおこないます。

各ページを参照して、ご利用されているプロテクトの更新/書き換えをおこなってください。

1. ネット認証ライセンス(占有) の更新	2
2. ネット認証ライセンス(共有) の更新	3
3. ネット認証ライセンス(LAN) の更新	4
4. USBプロテクト【SNS-W】の書き換え	6
5. USBプロテクト【SNS-LAN-X】の書き換え	7
6. USBプロテクト【JSP-R】の書き換え	8
7. USBプロテクト【JSP-LAN-R】の書き換え	9
8. プロテクト Q&A	11

1. ネット認証ライセンス(占有)の更新

「ネット認証ライセンス(占有)」をお使いの方は、以下の手順でライセンス情報を更新してください。

- ※ ライセンス情報を更新しないと、追加購入したプログラムを使用することはできません。
- ※ ライセンス情報の更新時には、インターネットに接続された環境が必要です。

Step1 | ライセンス情報の更新

1. デスクトップのアイコン、または画面右下のタスクバーの通知領域のアイコンから、「FCコンシェルジュ」を起動します。

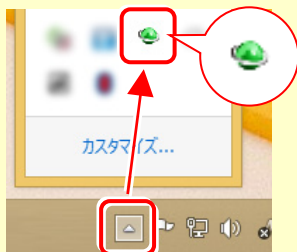


FCコンシェルジュが表示されます。
[ネット認証ライセンス]の[ネット認証ライセンス管理]をクリックします。



FCコンシェルジュを使用していない場合は

画面右下のタスクバーの通知領域のアイコンから、「FCネット認証ライセンスセンター」を起動してください。

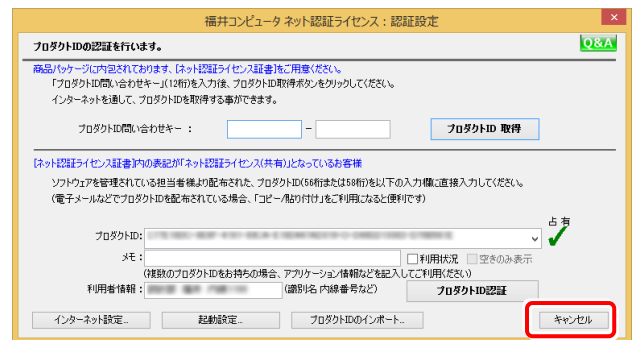


2. 「ネット認証ライセンス」の画面が表示されます。

「ネット認証ライセンス: 認証設定」画面(下画面)が表示された場合は

プログラムの起動時に自動的にライセンス情報が更新されますので、更新の必要はありません。

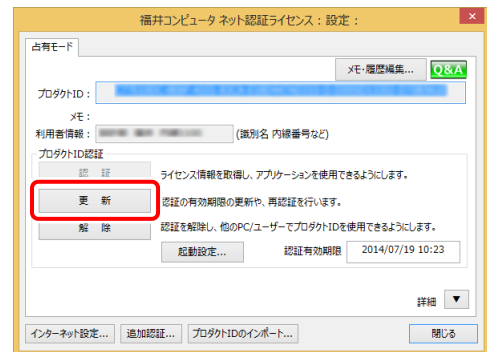
[キャンセル]ボタンを押して画面を閉じてください。



「ネット認証ライセンス: 設定」画面(下画面)が表示された場合は

手動でライセンス情報の更新が必要です。

[更新]ボタンを押して、ライセンス情報を更新してください。



以上でライセンス情報の更新は完了です。

続けてプログラムのアップデート、またはバージョンアップをおこなってください。

2. ネット認証ライセンス(共有)の更新

「ネット認証ライセンス(共有)」をお使いの方は、以下の手順でライセンス情報を更新してください。

- ※ ライセンス情報を更新しないと、追加購入したプログラムを使用することはできません。
- ※ ライセンス情報の更新時には、インターネットに接続された環境が必要です。

Step1 | ライセンス情報の更新

1. デスクトップのアイコン、または画面右下のタスクバーの通知領域のアイコンから、「FCコンシェルジュ」を起動します。



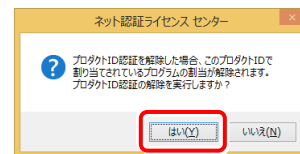
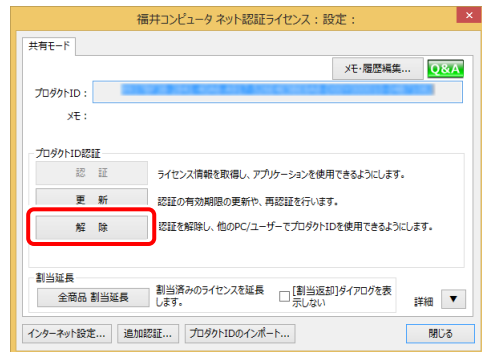
FCコンシェルジュが表示されます。
[ネット認証ライセンス]の[ネット認証ライセンス管理]をクリックします。



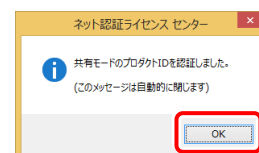
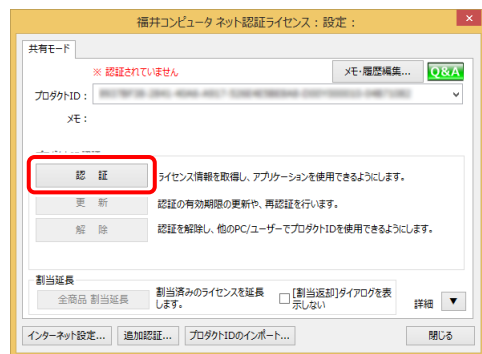
FCコンシェルジュを使用していない場合は
画面右下のタスクバーの通知領域のアイコンから、「FCネット認証ライセンスセンター」を起動してください。



2. 「ネット認証ライセンス:設定」画面が表示されます。
[解除] ボタンを押して、プロダクトIDを解除します。



3. そのまま続けて、[認証] ボタンを押します。



以上でライセンス情報の更新は完了です。
続けてプログラムのアップデート、またはバージョンアップをおこなってください。

3. ネット認証ライセンス(LAN)の更新

「ネット認証ライセンス(LAN)」をお使いの方は、以下の手順でライセンス情報を更新してください。

- ※ ライセンス情報を更新しないと、追加購入したプログラムを使用することはできません。
- ※ ライセンス情報の更新時には、インターネットに接続された環境が必要です。

Step1 | ネット認証LANサーバーの更新

1. ネット認証ライセンス(LAN)のサーバーに、「インストールDVD」をセットします。

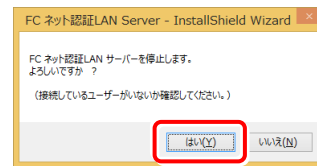


2. セットアップ画面の[ネット認証ライセンス LANモードサーバー]を押します。

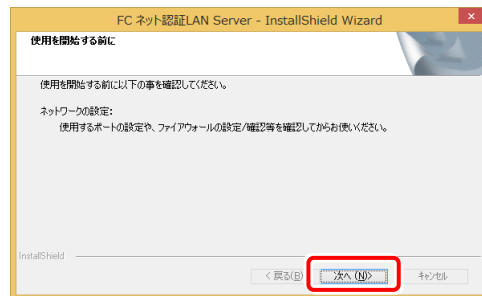
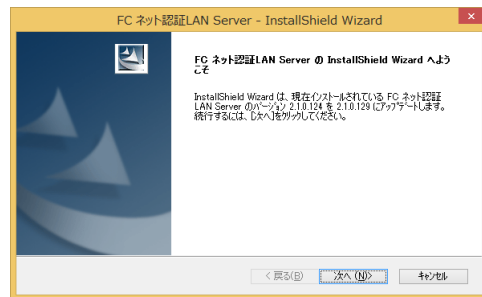


※ 上記画面が表示されない場合は、「インストールDVD」内の [Install.exe] を実行してください。

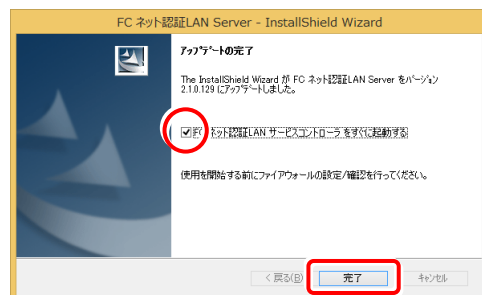
3. 表示される画面に従って、ネット認証LANサーバーを更新します。
[修復]と[削除]の選択画面が表示された場合は、[修復]を選択してください。



※ 表示される画面は、異なる場合があります。



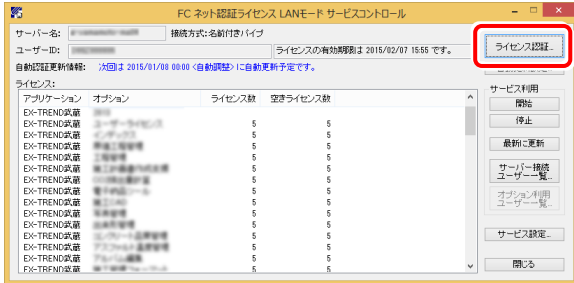
4. [FC ネット認証LAN サービスコントローラ をすぐに起動する]にチェックを付けて[完了]を押します。



(次ページへ進みます)

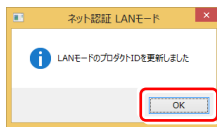
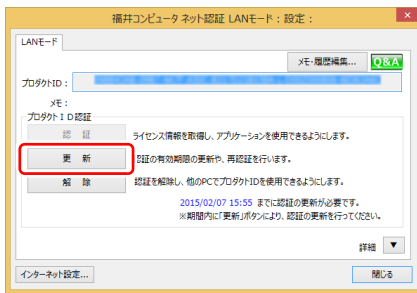
Step2 | ライセンス情報の更新(サーバー)

1. [FC ネット認証ライセンスLANモード サービスコントロール]画面から[ライセンス認証]を押します。

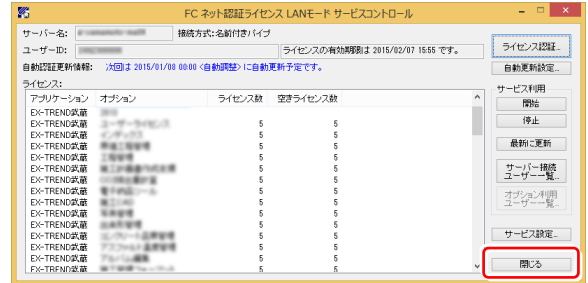


※ 上記画面が表示されていない場合は、「アプリ画面」から (Windows7/Vistaの場合はスタートメニューの「すべてのプログラム」から) 「FC ネット認証LAN Server」の「FC ネット認証LAN サービスコントローラ」を起動してください。

2. [更新]を押します。



3. ライセンス情報が更新されたことを確認し、[閉じる]を押します。



以上でライセンス情報の更新は完了です。

続けてプログラムのアップデート、またはバージョンアップをおこなってください。

P.19へ

4. USBプロテクト【SNS-W】の書き換え

「USBプロテクト【SNS-W】」をお使いの方は、以下の手順でライセンス情報を書き換えてください。

Step1 | プロテクトの書き換え

1. コンピューターに、書き換えを行う USBプロテクトを、1つだけ装着します。

※ 1つだけ



2. 「プロテクト書換CD」を、コンピューターにセットします。



(プロテクト書換CD)

3. プロテクトを選択する画面が表示された場合は、「SNS-Wタイプ」をクリックします。



※ 表示される画面は異なる場合があります。

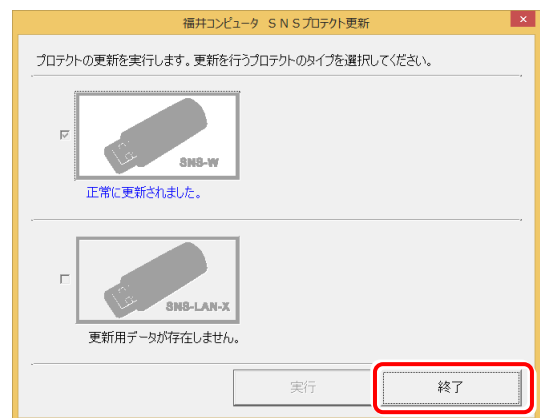
※ 上記画面が表示されない場合は、「プロテクト書換CD」内の [Install.exe] を実行してください。

4. [SNS-W]にチェックが入っている事を確認して、[実行] ボタンを押します。



※ 複数のUSBプロテクトをお持ちの場合は、プロテクトを付け替えてから、同手順を繰り返します。
必ず1つずつ書き換えてください。

5. 正常終了したら[終了]ボタンを押して画面を閉じます。



以上でUSBプロテクトの書き換えは完了です。
続けてプログラムのアップデート、またはバージョンアップをおこなってください。

5. USBプロテクト【SNS-LAN-X】の書き換え

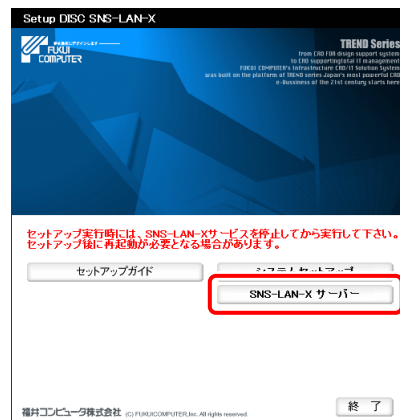
「USBプロテクト【SNS-LAN-X】」をお使いの方は、以下の手順でライセンス情報を書き換えてください。

Step1 | 「SNS-LAN-Xサーバー」 (ライセンス管理プログラム)の更新

1. USBプロテクト【SNS-LAN-X】を装着したサーバーに、送付された新しい「SNS-LAN-X用ライセンスCD【更新用】」をセットします。



2. [SNS-LAN-Xサーバー] ボタンを押します。



メッセージにしたがって、プログラムとライセンスを更新します。

以上でUSBプロテクトの書き換えは完了です。
続けてプログラムのアップデート、またはバージョンアップをおこなってください。

P.19へ

送付された「SNS-LAN-X用ライセンスCD【更新用】」は、大切に保管してください

サーバー入れ替えなどで、SNS-LAN-Xサーバー(ライセンス管理プログラム)の新規インストールが必要になった場合は、最新の「SNS-LAN-X用ライセンスCD【更新用】」を使用して新規インストールします。

最新の「SNS-LAN-X用ライセンスCD【更新用】」は、大切に保管してください。

6. USBプロテクト【JSP-R】の書き換え

「USBプロテクト【JSP-R】」をお使いの方は、以下の手順でライセンス情報を書き換えてください。

Step1 | プロテクトの書き換え

1. コンピューターに、書き換えを行う USBプロテクトを1つだけ装着します。

※ 1つだけ



2. 「プロテクト書換CD」を、コンピューターにセットします。



3. プロテクトを選択する画面が表示された場合は、「JSP-Rタイプ」を、クリックします。

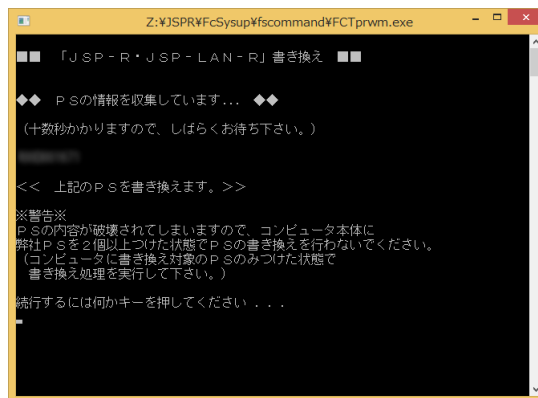


※ 表示される画面は異なる場合があります。

4. [プロテクトの書き換え]ボタンを押します。



5. 画面のメッセージに従って操作します。

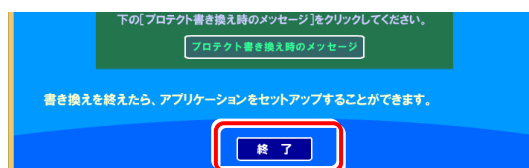


正常終了したら、何かキーを押して[プロテクトの書き換え]画面に戻ります。

※ 複数の「USBプロテクト」をお持ちの場合は、プロテクトを付け替えてから、同手順を繰り返します。

必ず1つずつ書き換えてください。

6. [終了]ボタンを押して画面を閉じます。



以上でUSBプロテクトの書き換えは完了です。

続けてプログラムのアップデート、またはバージョンアップをおこなってください。

7. USBプロテクト【JSP-LAN-R】の書き換え

「USBプロテクト【JSP-LAN-R】」をお使いの方は、以下の手順でライセンス情報を書き換えてください。

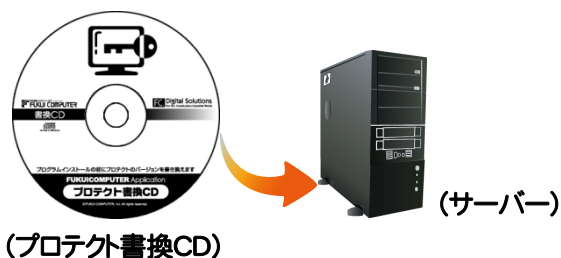
Step1 | プロテクトの書き換え

1. サーバーに書き換えを行う USBプロテクト【JSP-LAN-R】を、1つだけ装着します。

※ 1つだけ



2. 「プロテクト書換CD」を、サーバーにセットします。



3. プロテクトを選択する画面が表示された場合は、「JSP-LAN-Rタイプ」をクリックします。

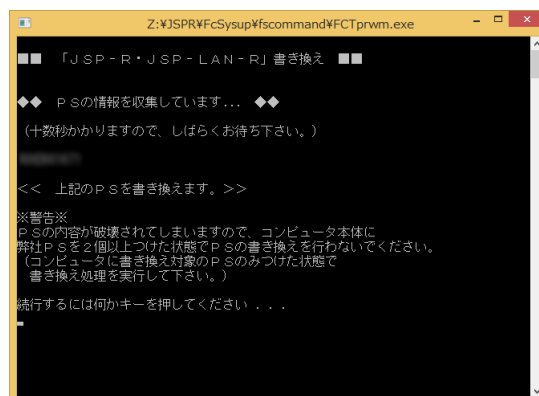


※ 表示される画面は異なる場合があります。

4. 「プロテクトの書き換え」ボタンを押します。



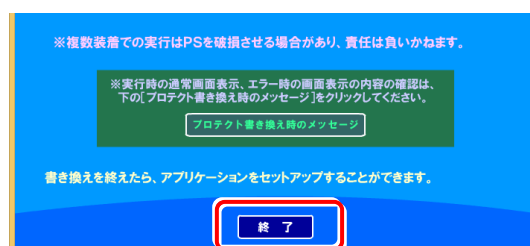
5. 画面のメッセージに従って操作します。



正常終了したら、何かキーを押して「プロテクトの書き換え」画面に戻ります。

※ 複数の「USBプロテクト」をお持ちの場合は、プロテクトを付けて替えてから、同手順を繰り返します。
必ず1つずつ書き換えてください。

6. 「終了」ボタンを押して画面を閉じます。



(次ページ「Step2」へ進みます)

Step2 | 「JSP-LAN-Rサーバー」 (ライセンス管理プログラム)の更新

1. USBプロテクト【JSP-LAN-R】を装着したサーバーに、「インストールDVD」をセットします。

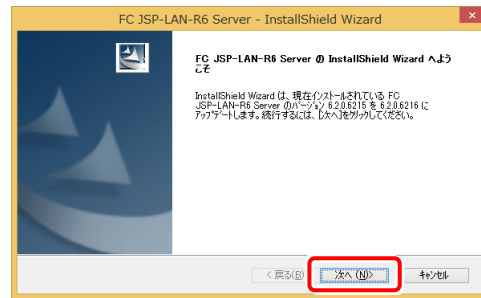


2. [JSP-LAN-Rサーバー]ボタンを押します。

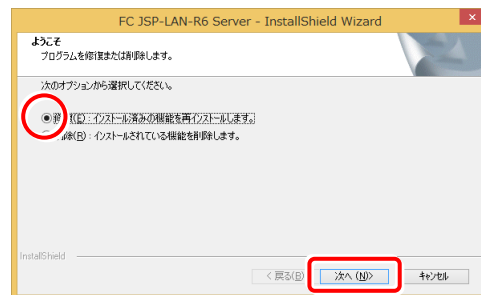


3. 表示される画面に従って、JSP-LAN-Rサーバーをインストールします。

バージョンアップ画面が表示された場合は、[次へ]を押し、インストールを進めてください。



[修復]と[削除]を選択する画面が表示された場合は、[修復]を選択して、インストールを進めてください。



以上でUSBプロテクトの書き換えは完了です。

続けてプログラムのアップデート、またはバージョンアップをおこなってください。

P.19へ

8. プロテクト Q&A

Q.1

データのバックアップ先にCDやDVDを指定したのですが、バックアップできません。

A.1

CDやDVDに直接バックアップを取ることは出来ません。

一旦ハードディスク上にバックアップした後、バックアップデータをお手持ちのCD・DVD書き込みソフトを使用して、CDやDVDに書き込んでください。

Q.2

「Antenna House PDF Driver」とはなんですか？

A.2

「Antenna House PDF Driver」とは、PDFを作成する仮想プリンタドライバです。

普通のプリンタと同様にアプリケーションの[印刷]コマンドから出力することにより、PDFファイルを作成することができます。

EX-TREND武蔵 を一括インストールした場合は、自動的にインストールされます。

Antenna House PDF Driver
Copyright (C) 2004- Antenna House, Inc.



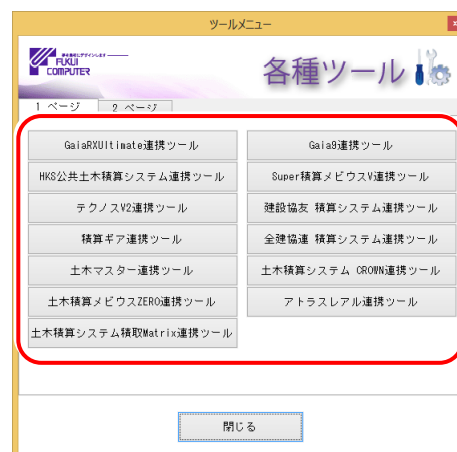
Q.3

「積算連携ツール」とはなんですか？

A.3

「積算連携ツール」とは、各社の積算プログラムからEX-TREND武蔵へデータを連携できるように、環境をセットアップするツールです。

ボタンをクリックすると、対応している積算プログラムが一覧表示されますので、お使いの積算プログラムのボタンを押して、セットアップしてください。



対応している積算プログラムは、追加・変更される場合があります。

Q.4

ネット認証ライセンスの操作解説の資料はありますか？

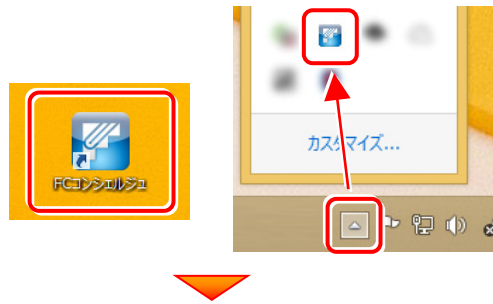
A.4

ネット認証ライセンスの Q&A をご覧になってください。

ネット認証ライセンスの設定画面からネット認証ライセンスの Q&A を開くことができます。
Q&A には、ネット認証ライセンスの機能やお問い合わせのあった内容について記載されています。

開き方

1. デスクトップのアイコン、または画面右下のタスクバーの通知領域のアイコンから、「FCコンシェルジュ」を起動します。



2. FCコンシェルジュが表示されます。
[ネット認証ライセンス]の[ネット認証ライセンス管理]をクリックします。

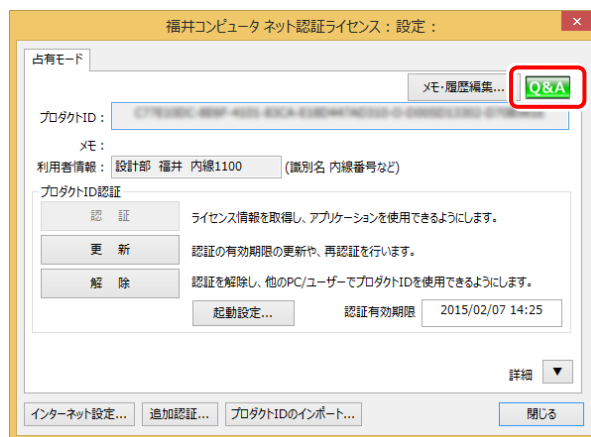


3. ネット認証ライセンスの設定画面が表示されます。
[Q&A]ボタンを押します。

ネット認証ライセンスの Q&A が開きます。

FCコンシェルジュを登録されていない場合、またはFCコンシェルジュがインストールされていない場合は

画面右下のタスクバーの通知領域に表示される「ネット認証ライセンスセンター」のアイコンをクリックして、ネット認証ライセンスの設定画面を開きます。



Q.5

プログラムの起動時に、「プロテクト設定」の画面が表示されて起動できません。

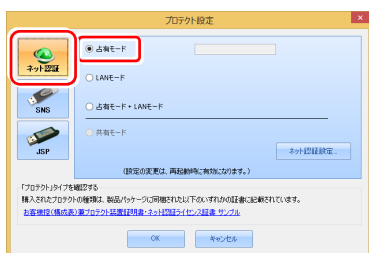
A.5

お使いのプロテクトを選択し、[OK] ボタンを押してください。

(プログラムによって、画面が異なる場合があります)

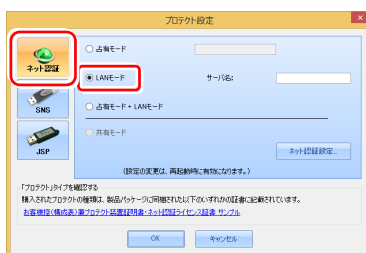
【ネット認証ライセンス(占有)】を使用

[ネット認証] - [占有モード] を選択



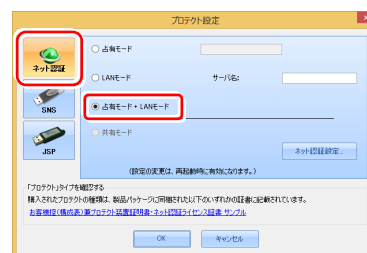
【ネット認証ライセンス(LAN)】を使用

[ネット認証] - [LANモード] を選択



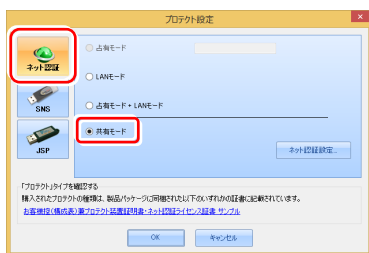
【ネット認証ライセンス(占有)】と【ネット認証ライセンス(LAN)】を併用

[ネット認証] - [占有モード+LANモード] を選択



【ネット認証ライセンス(共有)】を使用

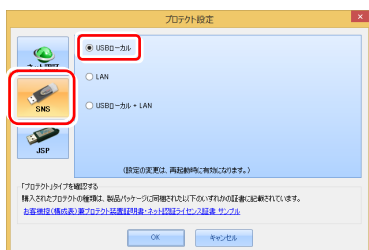
[ネット認証] - [共有モード] を選択



【ネット認証ライセンス(LAN)】を使用する場合は、[サーバー名]に、「FCネット認証LAN サーバー」をインストールしたサーバーのコンピュータ名を入力してください。

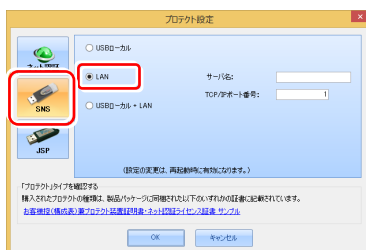
【SNS-W】を使用

[SNS] - [USBローカル] を選択



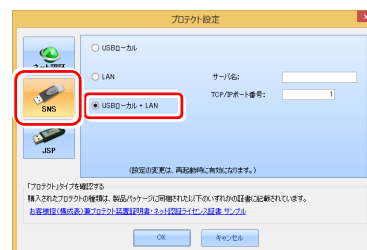
【SNS-LAN-X】を使用

[SNS] - [LAN] を選択



【SNS-W】と【SNS-LAN-X】を併用

[SNS] - [USBローカル+LAN] を選択



【SNS-LAN-X】を使用する場合は、[サーバー名]に【SNS-LAN-X】を装着したサーバーのコンピュータ名を入力してください。また[ポート番号]には、サーバーの「SNS-LAN-X サービスコントロール」※の[オプション]で設定されたポート番号を入力してください。 ※ 16ページ参照

【JSP-R】を使用	【JSP-LAN-R】を使用	【JSP-R】と【JSP-LAN-R】を併用
		
<p>[JSP]—[USBローカル]を選択</p>	<p>[JSP]—[LAN]を選択</p>	<p>[JSP]—[USBローカル+LAN]を選択</p>
		
<p>【JSP-LAN-R】を使用する場合は、[サーバー名]に【JSP-LAN-R】を装着したサーバーのコンピューター名を入力してください。</p>		

Q.6

ネット認証ライセンス(LAN)のライセンス管理について教えてください。

A.6

ライセンス管理用のサーバーにインストールされる、「FC ネット認証ライセンス LANモード サービスコントロール」で管理します。

「FC ネット認証ライセンス LANモード サービスコントロール」は、「ネット認証ライセンス(LAN)」のライセンス情報の確認や、サービスの開始や停止をおこなうことができます。

● Windows8, 8.1 の場合

Windowsのスタート画面の「アプリ画面」から、「FC ネット認証LAN Server」-「FC ネット認証LAN サービスコントローラ」で起動します。

● Windows7, Vista の場合

Windowsのスタートメニューの「すべてのプログラム」から、「FC ネット認証LAN Server」-「FC ネット認証LAN サービスコントローラ」で起動します。

[サーバー名]
サーバーのコンピュータ名が表示されます。

[ユーザーID]
ネット認証LANのユーザーIDが表示されます。

[ライセンス数]
同時使用可能なライセンス数が表示されます。

[空きライセンス数]
現在使用可能な残りのライセンス数が表示されます。

[サービス設定]
接続設定やログファイルを設定します。
[接続]タブ
接続プロトコルを設定します。
[使用状況ログ]タブ
使用されたアプリケーションの記録を定期的に残します。

[ライセンス認証]
プロダクトIDの認証・更新などをを行います。

[自動更新設定]
認証の自動更新処理について設定します。

[開始]
サービスを開始します。ネット認証LANを使用する場合は、サービスを開始しておく必要があります。

[停止]
サービスを停止します。

[最新に更新]
空きライセンスなどを最新の情報に更新します。

[サーバー接続ユーザー一覧]
ライセンスを使用しているユーザーを確認します。

[オプション利用ユーザー一覧]
選択したオプションを使用しているユーザーを確認します。

- [使用状況ログ]には、「何時何分の」「ライセンスの空き状況」が記録されます。使用するには、
 1. [ログの出力] チェックボックスをオンにし、[パス]にログファイルの出力を設定（[間隔]と[最大履歴数]は適宜に設定）。
 2. 「FC ネット認証ライセンスLANモード サービスコントロール」が表示されている状態で、ログの取得が開始されます。
 3. 「FC ネット認証ライセンスLANモード サービスコントロール」を閉じると、ログファイルが保存されます。
 4. 再度「FC ネット認証ライセンスLANモード サービスコントロール」を起動すると、前のログファイルは別ファイル（ログファイル名+日付）で残され、新たなログの取得が開始されます。
- ネット認証の「占有」と「LAN」を併用した場合、「占有」のライセンスが優先して使用されます。

Q.7

USBプロテクト【SNS-LAN-X】のライセンス管理について教えてください。

A.7

ライセンス管理用のサーバーにインストールされる、「FC SNS-LAN-X サービスコントロール」で管理します。

「FC SNS-LAN-X サービスコントロール」は、「USBプロテクト【SNS-LAN-X】」のライセンス情報の確認や、サービスの開始や停止をおこなうことができます。

- Windows8, 8.1 の場合
Windowsのスタート画面の「アプリ画面」から、[FC SNS-LAN-X Server]–[FC SNS-LAN-Xサービスコントロール]で起動します。
- Windows7, Vista の場合
Windowsのスタートメニューの「すべてのプログラム」から、[FC SNS-LAN-X Server]–[FC SNS-LAN-Xサービスコントロール]で起動します。

The screenshot shows the 'FC SNS-LAN-X サービスコントロール' window. It includes fields for 'サーバ' (Server) and 'ユーザID' (User ID), a table of application licenses, and control buttons for '開始(S)' (Start), '停止(I)' (Stop), '更新(P)' (Update), and '接続ユーザー(U)' (Connect User). An 'オプション(O)...' button is also present. A separate 'オプション' dialog box shows the '接続' tab with a 'ポート番号' (Port Number) field set to 5093.

[サーバ]
SNS-LAN-Xプロテクトが接続されているコンピューター名が表示されます。

[ユーザID]
SNS-LAN-XプロテクトのユーザIDが表示されます。

[ライセンス数]
同時使用が可能なライセンス数が表示されます。

[空きライセンス数]
現在使用可能な残りのライセンス数が表示されます。

[開始]ボタン
サービスを開始します。SNS-LAN-Xプロテクトを使用する場合は、サービスが開始されている必要があります。

[停止]ボタン
サービスを停止します。

[更新]ボタン
表示されている情報を最新に更新します。

[接続ユーザー]ボタン
選択したアプリケーションを使用しているユーザーを確認します。

[オプション]ボタン
接続設定やログファイルを設定します。

[接続]タブ
接続で使用するポート番号を設定します。

[使用状況ログ]
使用されたアプリケーションの記録を定期的に残します。

- **[ポート番号]**の初期値は「5093」です。接続に問題がある場合のみ、変更してください。変更した場合は、プログラム側のプロテクト設定のポート番号も合わせる必要があります。
- **[使用状況ログ]**には、「何時何分の」「ライセンスの空き状況」が記録されます。使用するには、
 1. [ログの出力]チェックボックスをオンにし、[パス]にログファイルの出力先を設定。([間隔]と[最大履歴数]は適宜に設定)
 2. 「FC SNS-LAN-X サービスコントロール」が表示されている状態で、ログの取得が開始されます。
 3. 「FC SNS-LAN-X サービスコントロール」を閉じると、ログファイルが保存されます。
 4. 再度「FC SNS-LAN-X サービスコントロール」を起動すると、前のログファイルは別ファイル(ログファイル名+日付)で残され、新たなログの取得が開始されます。
- USBローカルとLANのプロテクトの2種類を併用した場合、USBローカルのライセンスが優先して使用されます。

Q.8

USBプロテクト【JSP-LAN-R】のライセンス管理について教えてください。

A.8

ライセンス管理用のサーバーにインストールされる、
「FC JSP-LAN-R6 サーバ」で管理します。

「FC JSP-LAN-R6 サーバ」は、「USBプロテクト【JSP-LAN-R】」のライセンス情報の確認や、サービスの開始や停止をおこなうことができます。

● Windows8, 8.1 の場合

Windowsのスタート画面の「アプリ画面」から、[FC JSP-LAN-R6 サーバ] - [FC JSP-LAN-R6 サービスコントロール]で起動します。

● Windows7, Vista の場合

Windowsのスタートメニューの「すべてのプログラム」から、[FC JSP-LAN-R6 サーバ] - [FC JSP-LAN-R6 サービスコントロール]で起動します。

[サーバ]
JSP-LAN-Rプロテクトが接続されているコンピューター名が表示されます。

[ユーザID]
JSP-LAN-RプロテクトのユーザIDが表示されます。

[ライセンス数]
同時使用が可能なライセンス数が表示されます。

[空きライセンス数]
現在使用可能な残りのライセンス数が表示されます。

[開始]ボタン
サービスを開始します。JSP-LAN-Rプロテクトを使用する場合は、サービスが開始されている必要があります。

[停止]ボタン
サービスを停止します。

[更新]ボタン
表示されている情報を最新に更新します。

[接続ユーザ]ボタン
選択したアプリケーションを使用しているユーザーを確認します。

[オプション]ボタン
接続設定やログファイルを設定します。

[接続]タブ
接続プロトコルを設定します。

[動作ログ]
誰がいつ何を処理したか、およびエラー等の記録を残します。

[使用状況ログ]
使用されたアプリケーションの記録を定期的に残します。

- **[動作ログ]**には、「どのコンピューターが」「何時何分に」「どのライセンスを取得したか」が記録されます。使用するには、
 1. [ログの出力]チェックボックスをオンにし、[パス]に出力先のフォルダーを設定します。
 2. サービスを一旦[停止]ボタンで停止した後、[開始]ボタンで開始します。
このとき[パス]には、必ずローカルハードディスクのフォルダーを設定してください。ネットワークの共有フォルダーの場合、サービスの開始ができません。
- **[使用状況ログ]**には、「何時何分の」「ライセンスの空き状況」が記録されます。使用するには、
 1. [ログの出力]チェックボックスをオンにし、[パス]にログファイルの出力先を設定。([間隔]と[最大履歴数])は適宜に設定
 2. 「FC JSP-LAN-R サービスコントロール」が表示されている状態で、ログの取得が開始されます。
 3. 「FC JSP-LAN-R サービスコントロール」を閉じると、ログファイルが保存されます。
 4. 再度「FC JSP-LAN-R サービスコントロール」を起動すると、前のログファイルは別ファイル(ログファイル名+日付)で残され、新たなログの取得が開始されます。
- USBローカルとLANのプロテクトの2種類を併用した場合、USBローカルのライセンスが優先して使用されます。

Q.9

「FCコンシェルジュ」では何ができるのでしょうか？ 使い方を教えてください。

A.9

「FCコンシェルジュ」に登録していただくと、以下のようなサービスが受けられます。

- ご利用の製品に関する、最新の情報をお知らせいたします。
- ご利用の地域でおこなわれる、イベントやセミナーの情報をお知らせいたします。
- Q&Aやマニュアルの閲覧、サポートの電話番号案内やリモートサポートなど、サポートコンテンツをご利用いただけます。
- ソフトウェアをアップデート(最新の状態に更新)することができます。

各種オンラインサービスをご利用できます。



「お知らせ」「自動更新」「サポート」など、福井コンピュータからのお知らせが表示されます。

- ※ すべての機能を利用するには、インターネット接続環境が必要です。
- ※ 画面は予告なく変更される場合がございます。

ご利用されているお客様情報が表示されます。

「FCコンシェルジュ」を起動させるには

デスクトップのアイコン、または画面右下のタスクバーの通知領域のアイコンから、「FCコンシェルジュ」を起動します。



EX-TREND武蔵 2015 を アップデートします

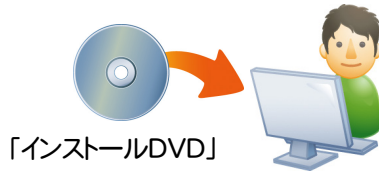
オプションプログラムの追加時には、プロテクトの更新または書き換えの後に、最新プログラムにアップデートします。

1. プログラムの再インストール 20
2. 入力専用ライセンスの更新 22

1. プログラムの再インストール

EX-TREND武蔵シリーズのプログラムを再インストールします。

1. コンピューターに「インストールDVD」をセットします。

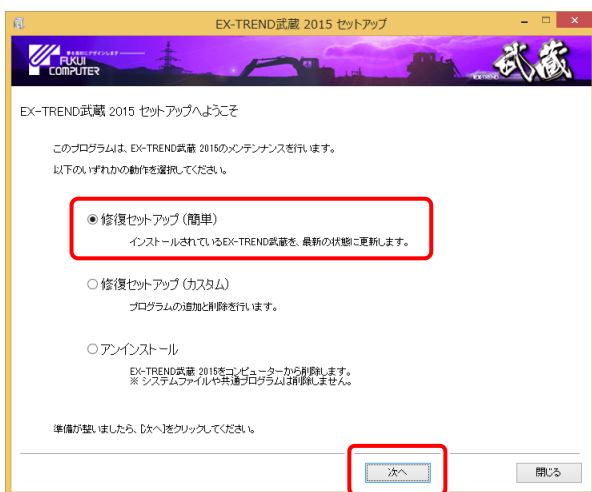


2. セットアップ画面の[一括インストール]を押します。



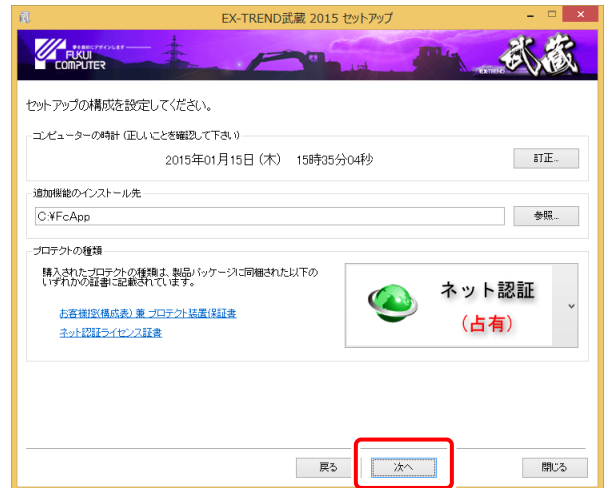
※ 上記画面が表示されない場合は、「インストールDVD」内の [Install.exe] を実行してください。

3. [修復セットアップ(簡単)]を選択して、[次へ]を押します。

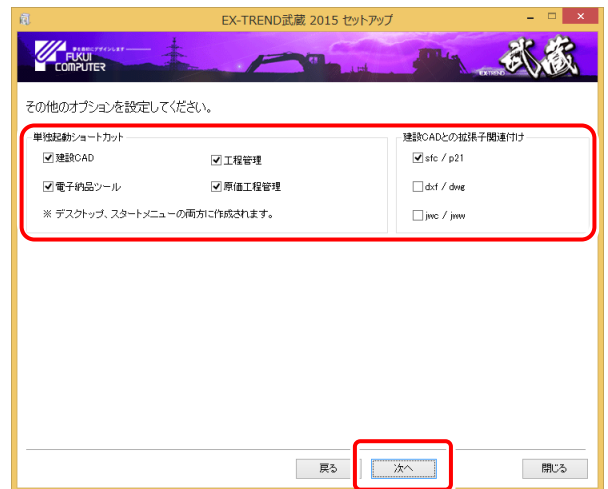


※ [修復セットアップ(カスタム)]では、ローカルマスターの追加と削除がおこなえます。詳しくはP.23「修復セットアップ(カスタム)とは」を参照してください。

[次へ]を押します。



その他のオプションを設定し、[次へ]を押します。



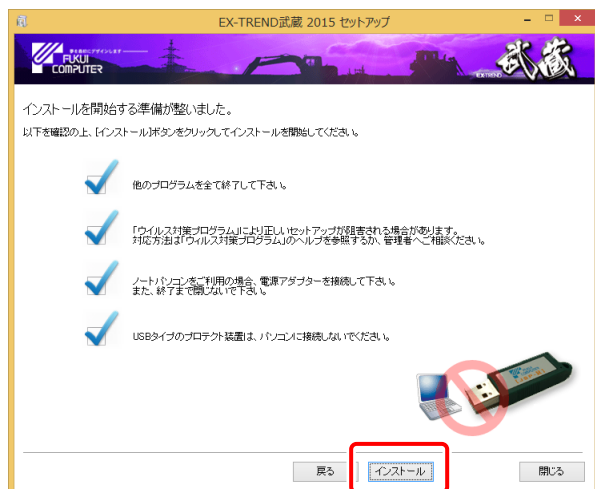
※ 単独起動ショートカットを作成すると、「インデックス」プログラムを使用しなくてもプログラムを起動することができます。

- ・単独起動ショートカット： すべてのチェックを「オン」
- ・建設CADの拡張子関連付け： sfc/p21 を「オン」

でインストールすることをお勧めします。

(次ページへ続く)

内容を確認して、[セットアップ開始]を押します。



インストールが完了したら、[閉じる]を押します。

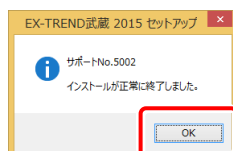


プログラムのインストールが開始されます。



プログラムの再インストールは完了です。

続いて次ページ「2. 入力専用ライセンスの更新」に進みます。



2. 入力専用ライセンスの更新

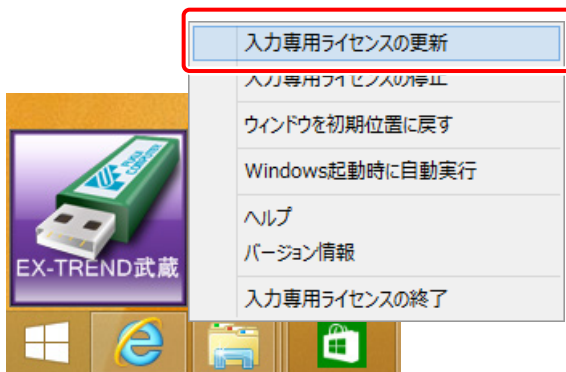
プログラムの構成内容を変更したときには、入力専用ライセンスのライセンス情報を更新する必要があります。ライセンス情報を更新しないと、追加購入したプログラムを入力専用で使用することはできません。

ライセンス情報の取得時には、コンピューターに取得先のUSBプロテクトを装着した状態（ネット認証の場合は、取得先のプロダクトIDを認証済みの状態）にしておいてください。

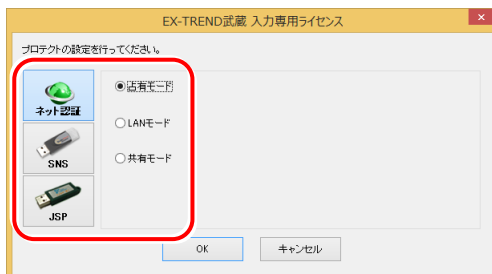
1. デスクトップの[入力専用ライセンス]をダブルクリックして起動します。



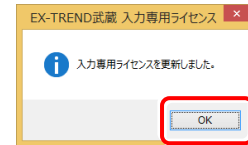
2. デスクトップ左下の[入力専用ライセンス]でマウスの右ボタンをクリックし、表示されるポップアップメニューから、[入力専用ライセンスの更新]コマンドを実行します。



3. [ターゲット]で、使用されているプロテクト装置を選択して、[OK]を押します。



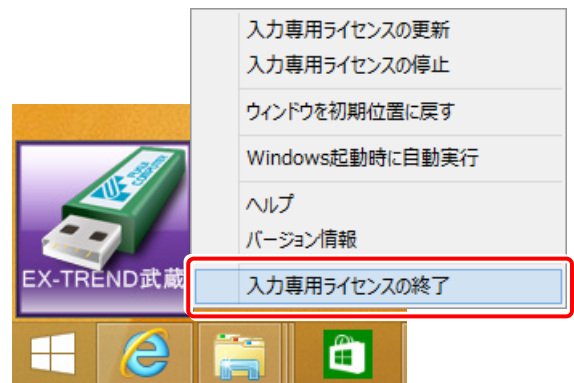
LANモードのプロテクトを選択した場合は、プロテクトのサーバー名を入力してください。



4. ライセンス情報の更新を終えたら、入力専用ライセンスを終了します。

起動させたままだと、プロテクトが装着されていても入力専用で動作してしまいます。

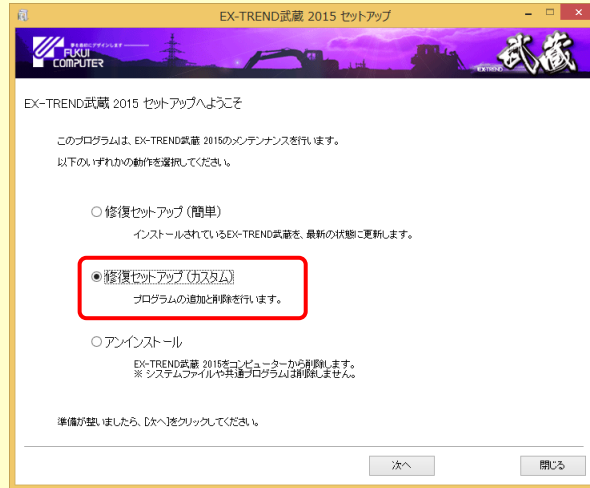
[入力専用ライセンス]でマウスの右ボタンをクリックし、表示されるポップアップメニューから、[入力専用ライセンスの終了]コマンドを実行します。



入力専用ライセンスの更新は完了です。

以上でアップデートは完了です

修復セットアップ(カスタム)とは



修復セットアップ(カスタム)では、「**ローカルマスターの追加と削除**」がおこなえます。(下図参照)
(修復セットアップ(簡単)では、インストール済みのローカルマスターのみ、自動更新されます。)

ローカルマスターとは、各省庁や都道府県別に対応した基準案・要領案などの設定ファイルです。
受注する可能性のある、省庁や地域のチェックボックスをオンにします。

旧バージョンで使用していたマスターファイルのチェックボックスは、オンになっています。

追加や削除がある場合は、設定を変更してください。

(追加・更新するマスターは「オン」、削除するマスターは「オフ」)

追加または更新するローカル
マスターのチェックをオン、
削除するローカルマスターの
チェックをオフ

